

5. 市街地の整備改善のための事業に関する事項

[1]市街地の整備改善の必要性

(1) 現状分析

中心市街地の幹線道路は、国道147号、県道信濃大町停車場線（中央通り）、街路東町線、街路若宮駅前線に加え、平成18年に街路曾山観音橋線の国道147号から中央通りまでの区間が完成し、中心市街地を訪れる人たちの利便性が向上しました。

しかしながら、幹線道路以外の生活道路は、幅員が狭く歩道も十分に整備されていないことから、冬期間の除雪・排雪対策をはじめ災害発生時の通行機能確保等の課題があります。

公園については、中心市街地には1か所の都市公園と9か所のポケットパークがありますが、中心市街地全体としては、公園・緑地などのオープンスペースが十分に設置されていない状況にあります。

また、中心市街地の駐車場は、3か所の市営駐車場をはじめ、公共的団体や商店街等の駐車場も整備されており、収容面積の観点からは、ある程度充足していると考えられますが、交通誘導やまちなかの賑わい創出の観点からは、課題があります。また、中心市街地において、大型バスを駐車できる駐車場が少ないことも課題です。

(2) 整備改善の必要性

中心市街地を訪れる人の誘導ルートと考えた場合、主に国道147号・街路若宮駅前線を通してJR信濃大町駅前へ訪れるルートと、国道147号や観音橋を通過して街路曾山観音橋線を通して訪れるルートが考えられます。

そこで、2つのルートを通じて中心市街地を訪れる人たちに対応した取り組みが重要です。また、まちなかの賑わい創出の観点からは、自動車優先から歩行者優先のまちづくりを進め、中心市街地を訪れた人たちが、まちなかを回遊するための施策に取り組んでいくことが必要です。

こうしたことから、「市街地の整備改善」に向け、主に、次の事業を検討します。

- ① 大町市観光振興計画重点プロジェクトの滞在型周遊観光の推進と連携し、大型バスが利用しやすい駐車場の検討をするとともに、分りやすい案内板・案内サインを工夫することによる、「訪れたくなる まち」の実現に向けた事業
- ② うるおいとやすらぎがあり、居住環境の向上を図るとともに、ユニバーサルデザインによるまちづくり推進することによる、「住みたくなる まち」の実現に向けた事業

[2]事業の検討内容

事業名・施策名、内容	目標達成のための位置付け及び必要性
<p>■事業名 バス停留検討事業</p> <p>●事業内容 大型バス駐車場の検討</p> <p>2次交通の利便性の向上</p>	<p>本事業は、「訪れたいまち」の実現をめざすもので、中心市街地をバスで訪れる人の利便性の向上を図る事業です。駅前駐車場では観光等の大型バスが利用しやすい施設の改修を検討します。</p> <p>あわせて、設定区域に隣接する地域における待機用の駐車場について検討します。</p> <p>市民バスふれあい号はフリー乗降区間の設定や、新たに市街地循環線の運行を始めました。市民や観光客にとってより使いやすい市民バスやシャトルバス等の運行を検討します。</p>
<p>■事業名 まちなか案内板・案内サイン工夫事業</p> <p>●事業内容 案内板や案内サインの工夫</p>	<p>本事業は、「訪れたいまち」の実現をめざすもので、まちなかの観光施設や公共施設、公衆トイレや駐車場を含めた公共施設等をわかりやすく案内できるよう案内サインのデザイン等を工夫し、街を訪れる人の利便性を向上させる事業です。</p>

事業名・施策名、内容	目標達成のための位置付け及び必要性
<p>■事業名 まちなかユニバーサルデザイン事業</p> <p>●事業内容 すべての人にやさしいまちづくりの推進</p>	<p>本事業は、「住みたくなる まち」の実現をめざすもので、道路や歩道の段差の解消や拡幅をはじめ、施設のバリアフリー化、冬期間の除雪・排雪対策を行い、安全で快適に移動することができ、防災・防犯の面からも安全・安心な地域とすることができる中心市街地の創造をめざす事業です。</p> <p>また、中心市街地に関わる人たちが、今まで以上に思いやりやもてなしの心があふれるような取り組みを進め、すべての人にやさしいまちの創出をめざした事業です。</p>
<p>■事業名 「(仮称) まちの明かりプロジェクト」開催事業</p> <p>●事業内容 「明かり」をテーマとしたデコレーションの実施</p>	<p>本事業は、「訪れたくなる まち」の実現をめざすもので、イルミネーション等「明かり」をテーマとした、装飾・オブジェ・クラフトなどをイベント開催時に合わせて中心市街地の各所に展示します。展示にあたっては、統一感を持たせ商店街関係者だけでなく、一般の法人・個人にも参加を呼びかけ、自由に参加できる住民参加型のイベントとします。また、観光客がまちなかを歩いて回れるような仕組みをつくり、まちなかの賑わいとふれあいを創出する事業です。</p>

事業名・施策名、内容	目標達成のための位置付け及び必要性
<p>■施策名 今後の実施事業の検討</p> <p>●施策の内容 今後、実施事業に関する具体的な検討を行っていく。</p>	<p>本事業は、「訪れたいまち」、「買物したいまち」、「住みたいまち」の実現をめざすもので、まちなかの魅力をより一層高めるために、次の9つの事業について検討します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 東洋紡大町工場跡地に建設される商業施設と中心市街地活性化について 2. 駅前の活性化と賑わいの創出について 3. 中央通り火災跡地等、中心市街地の未利用地の利活用について 4. 「大町市雨水整備基本計画」に沿った計画的な雨水対策、電線地中化、流雪溝等の整備について 5. 市民や観光客が利用しやすい小売店や飲食店等の複合施設の整備について 6. 地域高規格道路「松本系魚川連絡道路」のルート決定に対応した中心市街地活性化対策 7. JR 信濃大町駅のエレベーターの設置について 8. 商店街のアーケードや街路灯、放送設備等の維持について 9. その他中心市街地活性化に効果が期待される事業について

6. 都市福利施設を整備する事業に関する事項

[1]都市福利施設の整備の必要性

(1) 現状分析

中心市街地における教育文化施設は、長野県大町北高等学校の1校しかありませんが、平成28年度には、長野県大町高等学校と統合し、大町高等学校用地に大町岳陽高等学校が開校します。中心市街地周辺には、1小学校、2中学校があります。また、中心市街地周辺には、図書館や文化会館等の教育文化施設があります。

医療施設については、市立大町総合病院をはじめ、10以上の医療施設があります。

社会福祉施設については、市立保育園が1施設、市立中央保健センターや北アルプス広域連合が運営する介護老人保健施設「虹の家」や市の総合的な福祉の拠点となる総合福祉センター「ハートピア仁科の里」をはじめいくつかの社会福祉施設が、中心市街地やその周辺にあります。

(2) 整備改善の必要性

急速に進む少子高齢社会において、誰もが住み慣れた地域で、健康で安心して、安全で快適に暮らしていくためには、教育・文化・保健・医療・福祉等の様々な分野におけるサービスをいつでも、どこでも、誰でも簡単に受けられるようにしていくことが必要です。そのためには、既存の施設をさらに活用するとともに、各分野における取り組みが、一体的かつ連携を図っていけるようにしていくことが重要です。

また、魅力ある中心市街地とするためには、子どもの遊び場や子育て支援、あるいは世代間を越えた交流が図られる場や機会を設けていくことも必要です。

こうしたことから、「都市福利施設の整備」に向け、主に、次の事業を検討します。

- ① 既存都市福利施設の活用や新たな情報発信による、「訪れたくなる まち」の実現に向けた事業
- ② 地域文化を活用するとともに、コミュニティの振興を図ることによる、「住みたくなる まち」の実現に向けた事業

[2]事業の検討内容

事業名・施策名、内容	目標達成のための位置付け及び必要性
<p>■事業名 まちなか情報発信事業</p> <p>●事業内容</p> <p>1. インターネット・ホームページの充実</p> <p>2. 「(仮称)大町まちなか再生情報」の発行</p>	<p>本事業は、「訪れたいくなる まち」の実現をめざすもので、商店街及び商店と連携したイベント情報、商品・サービス情報等、当市の中心市街地の様々な情報を発信していく事業で、次の取り組みを行います。</p> <p>1. 当市の中心市街地活性化に関するホームページの更新を行い、「まちなか情報」を発信し、中心市街地を訪れたいくなるようにしていく事業です。 併せて観光情報とリンクし、観光施設やお土産、お食事処、イベント等の紹介を行い、街なかの賑わいを創出します。また、無料でインターネット接続が可能なWi-Fi環境を活用し、外国人観光客をはじめとした観光客の誘客を促します。</p> <p>2. 当市の中心市街地活性化に関する情報や話題をイベントチラシに含め情報として発行し、関係者の情報の共有を深めるとともに、まちなかを訪れる人の利便性を向上させるための事業です。</p> <p>3. 各商店会の連合体の結成を促進するとともに、連合体独自のイベント開催に伴う情報の発信に努め、商店街全体の活性化の底上げを図ります。</p>

事業名・施策名、内容	目標達成のための位置付け及び必要性
<p>■事業名 「(仮称)もてなしの心あふれるまちづくり」事業</p> <p>●事業内容 1. 空き店舗を活用した「(仮称)市民ふれあいサロン」の活用</p> <p>2. まちなかベンチの整備</p> <p>3. のれん掲出事業</p>	<p>本事業は、「訪れたいくなる まち」の実現をめざすもので、子どもからお年寄りの方まで、多くの人たちが訪れる中心市街地を形成するために、次の事業を実施し、賑わいとふれあいを創出します。</p> <p>1. イベント開催に合わせ空き店舗を活用して、子どもからお年寄りの方まで、また障がいのある人もない人も、まちなかを訪れた誰もが休憩したり、団らんしたりできる場所を提供し、地域コミュニティの振興を図ります。</p> <p>また、本サロンでは、市民のちょっとした困りごとや相談ごとを支援するサービスを実施します。</p> <p>さらに、本サロンにおいて地域の人たちが持つ知識や経験を活用した交流会の開催や地域の人たちが作成した様々な作品の展示会等を開催し、世代間の交流を深めます。</p> <p>2. 中心市街地の各所に、訪れた人が休憩できるように、複数箇所に椅子やベンチを設置します。設置する椅子・ベンチは、大町市の中心市街地ならではの特色あるデザインとします。</p> <p>3. 商店街の店舗正面に、統一性を持たせつつも趣向のあるのれんや格子を掲出し、明るさとにぎわいの感じられる街なみをつくります。</p>
<p>■事業名 商店や町屋を活用した「まちなかギャラリー」活用事業</p> <p>●事業内容 絵画・クラフトの展示 ワークショップの開催</p>	<p>本事業は、「訪れたいくなる まち」の実現をめざすもので、市内外の芸術家の絵画やクラフト等の作品の展示を行う「まちなかギャラリー」を活用するため、様々なワークショップを開催し、楽しみながら学べるスペースとして、多彩な交流を深めます。</p>

事業名・施策名、内容	目標達成のための位置付け及び必要性
<p>■事業名 まちなかスタンプラリー開催事業</p> <p>●事業内容 まちなかを楽しみながら回遊するスタンプラリーの実施</p>	<p>本事業は、「訪れたいくなる まち」の実現をめざすもので、中心市街地を楽しみながら歩いて回れるように、①名所・名店めぐり、②水場めぐり、③のれんめぐりなどを素材にして、まちなかの再発見につながる事業です。また、スマートフォンアプリ「まちナビおおまち」と連携してまち歩きを促進させる事業です。</p>
<p>■事業名 地域文化を活かしたまちなか再生事業</p> <p>●事業内容</p> <p>1. 流鏝馬会館や町屋等を活用したイベントの開催</p> <p>2. まちなかうオッチング</p>	<p>本事業は、「訪れたいくなる まち」や「住みたいくなる まち」の実現をめざすものです。中心市街地にある、神社仏閣をはじめ、町屋形式の建築物、造り酒屋、土蔵など、歴史的建築物を今に伝えています。また、形ある資源に加え、流鏝馬の神事や舞台囃子といった無形の資源も地域住民の日常生活の中に息づいています。こうした歴史的・文化的資源に関して、次の事業を実施し、大町市民一人ひとりが地域の伝統文化の良さを改めて見直す機会を創出するとともに、日本の文化に興味を持っている外国人を含む観光誘客を目指します。</p> <p>1. 流鏝馬神事、大町の民話、塩の道等に関する講座を開催します。</p> <p>流鏝馬会館、東側の石畳、八日町ポケットパークを会場として、楽しみながら地域文化（食文化を含む）に触れ合えるようなイベントを開催します。</p> <p>2. 山岳博物館や東山を訪れる観光客をまちなかに誘導し、中心市街地の歴史的・文化的資源を実際に歩きながら見て回り、地域文化の良さを再発見する機会を設けます。</p> <p>また、観光ボランティアと連携し、中心市街地の観光ガイドを実施します。</p> <p>これらの事業の実施にあたっては、塩の道ちょうじやとの連携を図りながら、観光案内やお土産の紹介などを通してより効果が発揮される取り組みを行います。</p>

事業名・施策名、内容	目標達成のための位置付け及び必要性
<p>■事業名 大町ブランド活用事業</p> <p>●事業内容 大町ブランドを活用した魅力の向上</p>	<p>本事業は、「訪れたいくなる まち」の実現をめざすもので、現在進めている「黒部ダム」や「そば」などの地域ブランドを活用して、中心市街地の活性化に寄与するための具体的施策を実施し、まちなかの魅力を向上させる事業です。</p>
<p>■事業名 既存まちなかイベントグレードアップ事業</p> <p>●事業内容 既存まちなかイベントの見直し</p>	<p>本事業は、「訪れたいくなる まち」の実現をめざすもので、大町やまびこまつりや大町ゆかたまつり、おおまち雪まつり、舞台曳き揃え、カレーストリート、荷ぐるま市、あめ市、そばまつり等既存のまちなかイベントの見直しを行い、その内容を充実させ、まちなかの魅力をより向上させます。</p> <p>また、三蔵呑み歩きやおおまちバルなどのイベントと連携するとともに、姉妹都市など交流のある自治体のイベント参加を促進し、市民同士の交流を深めることで街なかの賑わいの創出に努めます。</p>
<p>■事業名 新規まちなかイベント創造事業</p> <p>●事業内容 新規まちなかイベントの実施内容の検討・創設</p>	<p>過去に開催した黒部の太陽フェスタやくろよんまつり、ディズニーパレードは多くの観客でまちなかがにぎわい、活気にあふれました。</p> <p>本事業は、「訪れたいくなる まち」の実現をめざすもので、大町らしさを生かし、多くの人が中心市街地に訪れるような、新規まちなかイベントについて検討を行い、実施可能なものはすぐに実施し、まちなかの魅力を向上させるとともに、商店街の活性化を図ります。27年度は信濃大町まつりを開催し、活性化のさらなる向上を目指します。</p>